

研修内容の紹介

～総合交通体系調査、
パーソントリップ調査の解説を含む～

一般財団法人 計量計画研究所

都市地域・環境部門 小島 浩

総合都市交通体系調査とは

企画→実態調査→分析→予測→提案を含む 一連の取組み

- ① P T 調査等の企画、交通実態調査
- ② 現況分析による現況問題・課題の整理
- ③ 将来交通量予測、将来課題の整理
- ④ 交通マスタープラン、都市交通戦略等の提案

国土交通省都市局の補助調査

総合都市交通体系調査の進め方

総合都市交通体系調査 (総合的な都市交通計画を策定する調査)

事前検討調査 (企画・準備)



1年目

実態調査等 (パーソントリップ調査)

2年目

交通実態の分析および将来交通量の予測

3年目

計画施策提案 (都市交通マスタープラン等)

総合都市交通体系調査の長所

(1) P T調査は全手段及び属性（移動主体）を持つ

唯一のデータ

- ・マルチモード：全交通手段（車、鉄道、バス・・・）
- ・個人・世帯属性：年齢、自動車保有、子育て世帯等

(2) P Tデータに基づいた分析や代替案評価

⇒ 計画、施策提案に、明確な（科学的な）根拠

データに裏付けられた、説得力ある施策提案を強力に支援！

(3) 計画・施策の説得力を高める総合的な検討が可能

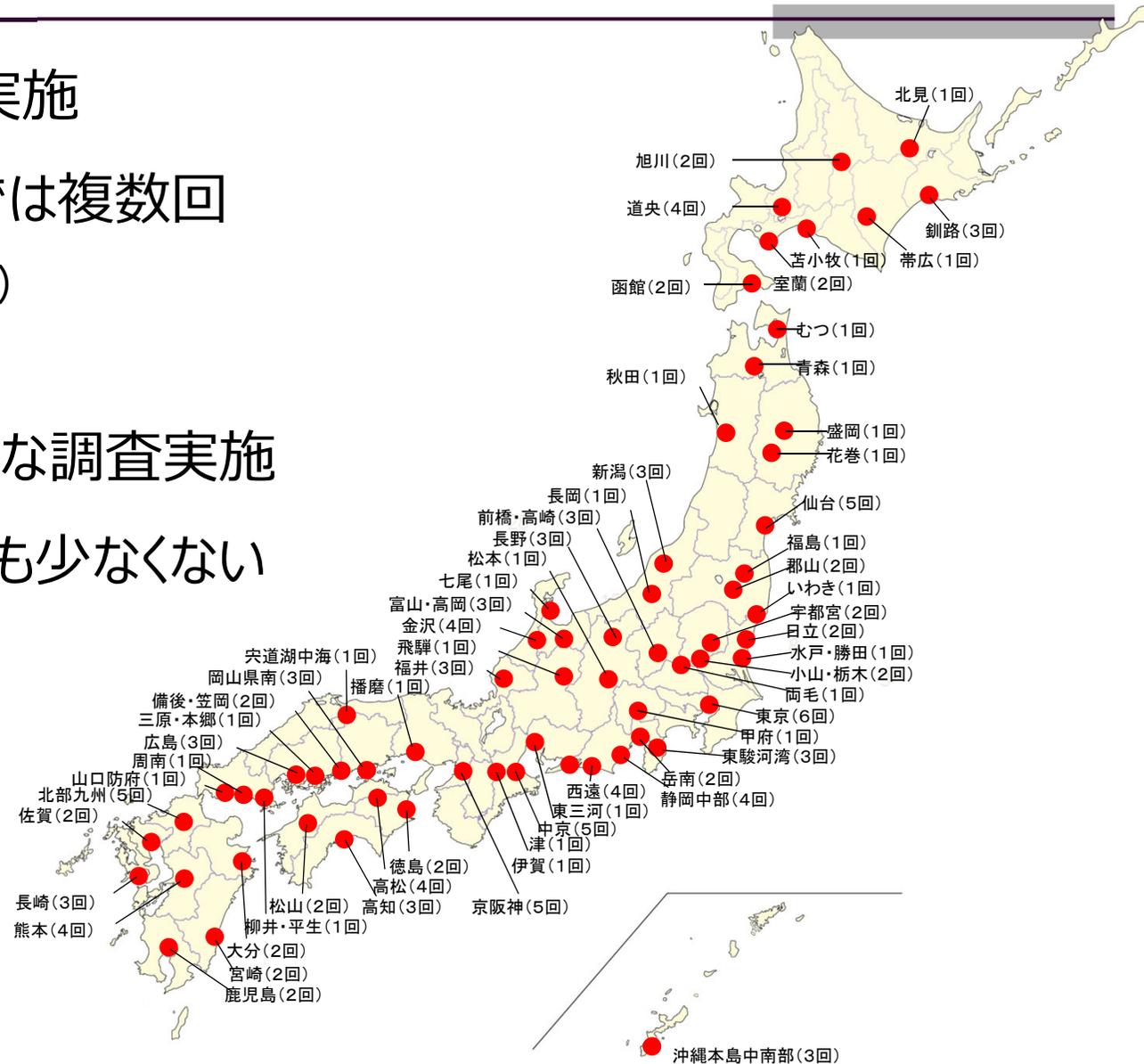
- ① 交通手段の総合性
- ② 交通計画と土地利用計画の総合性
- ③ ハード施策とソフト施策の総合性
- ④ 広域交通計画と地区交通計画の総合性
- ⑤ 長期計画と短期計画の総合性

(4) 近年のニーズ変化と重要性の高まりに対応した 検討が可能

近年、人口減少、公共投資余力の減退などを背景に、目標に対して
効率的かつ重点的な計画を提案することが求められてきている

都市圏パーソントリップ調査の実施状況

- 65都市圏で実施
- 主要都市圏では複数回
(2020年4月時点)
- 一方、継続的な調査実施
困難な都市圏も少なくない



総合都市交通体系調査の課題

①調査費用が膨大で、高頻度な実施困難

②課題の変化に伴い、新しい取り組みの必要性

ex. 課題に対応した調査方法（付帯調査 等）

ビッグデータなどの既存データ有効活用

**本研修で、
一般的な手法を紹介しつつ新しい手法・事例も紹介**

新たな総合都市交通体系調査の方向

① 新たな総合都市交通体系調査の役割・意義・手法

プランニング・政策評価 : 講習 4

② 今後の調査体系のあり方

次世代の都市交通調査へ : 講習 5

本研修のプログラム

講習1
都市交通調査等に関する最近の話題

国土交通省都市局都市計画調査室

講習2 企画・準備と実態調査

計量計画研究所

講習3 現況分析

計量計画研究所

講習4 プランニングと政策評価

計量計画研究所

講習5
次世代の都市交通調査へ

計量計画研究所

講演と調査事例紹介

講演

ポストコロナのまちづくりに向かって

計量計画研究所 代表理事

岸井 隆幸

調査・活用事例の紹介

仙台都市圏パーソントリップ調査について

宮城県 土木部 都市計画課

東京都市圏パーソントリップ第6回調査について

国土交通省 関東地方整備局 広域計画課

近年の生活行動について

計量計画研究所

本研修の役立て方（研修のねらい）

- ① **総合都市交通体系調査の重要性・有効性の理解**
 - ・ 新たな総合都市交通体系調査実施のきっかけに！
- ② **総合都市交通体系調査の内容・留意点の理解**
 - ・ 総合都市交通体系調査実施を予定している都市圏で、調査の円滑な実施に資するとともに調査成果をレベルアップ！
 - ・ 具体の取組みの予定がない場合、都市交通に関する知識習得、新たな調査企画提案する際の参考に！
- ③ **総合都市交通体系調査成果の有効活用方策の理解**
 - ・ 調査データや計画提案を活用した取組みを推進！
- ④ **先進的な調査・計画事例の理解**
 - ・ 総合都市交通体系調査や成果活用のレベルアップ！

質問について

○ **オンライン参加者は、WEBページにアクセスし、質問を記入してください**

※チャットでアドレスをお知らせします

後日、回答を共有します

アンケート調査票

- 本研修は、内容を充実させて、毎年実施していきたいと考えていますので、研修内容へのご意見を是非お聞かせください
- 会場参加者は、会場スタッフに提出ください
- オンライン参加者は、WEBページから、回答をお願いします。
※講習終了時にチャットでアドレスをお知らせします

ご協力をお願いします